

事業の基礎情報

実施主体	国東市
事業実施地域	国東市国見町
共創の種類	官民共創 ・ 他分野共創
他分野共創の種類	医療・介護・福祉
共創パートナー	国東市（政策企画課・福祉課）、タクシー事業者、AIオンデマンド交通システム事業者、伊美地区支え合い活動準備会（仮称）、支え合い活動地域協議会、国東市社会福祉協議会
運行形態	AIオンデマンド交通
運行主体	地元タクシー事業者

取組の概要

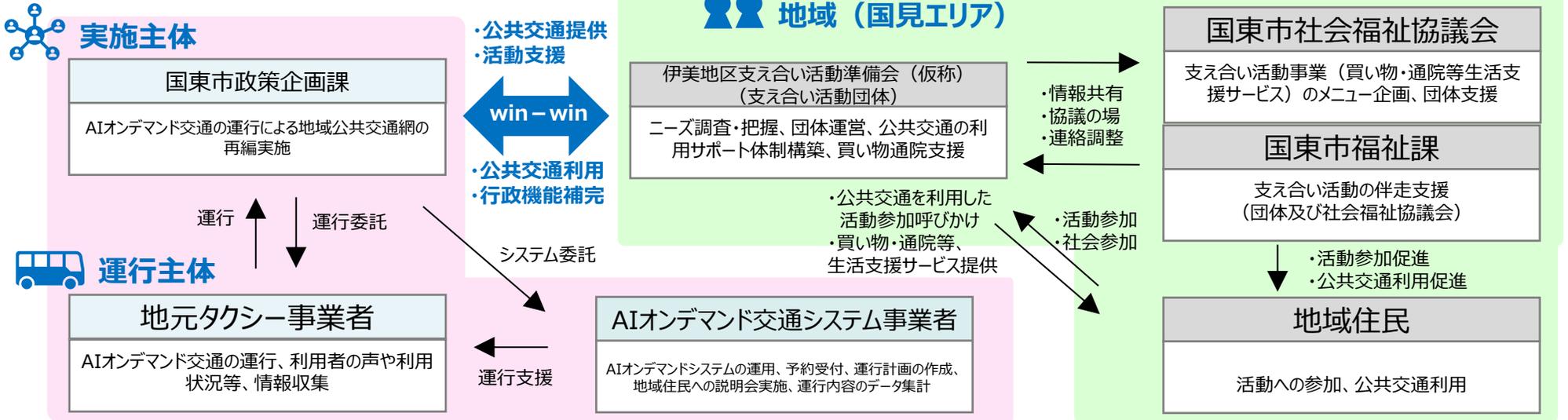
（現状の地域課題と事業目的）

課題①：国見地域は市内でも特に人口減少と高齢化が進行している。路線バスの廃止が進み、住民の移動手段が失われつつある。
課題②：国見地域では自力での外出が困難となり、買い物や通院等、日常生活に不安を抱える住民が増加しており、介護予防の観点から生活支援の仕組み作りに取り組んでいるが、移動手段がないために、買い物や通院付添等の支援体制が整えられない地域がある。
事業の目的：AIオンデマンド交通の導入により地域公共交通の利便性を向上させ、公共交通の利用サポート体制を構築の上、買い物や通院付添等の支援を実施することにより、地域住民の生活の質を向上させ持続可能な公共交通のモデルケースを構築する。

（事業の概要）

①市・社協・住民団体・交通事業者等が連携し、②利便性・効率性の高いAIオンデマンド交通を導入の上、③介護予防教室等を行う地域支え合い活動を立ち上げると同時に、住民ボランティアによる公共交通の利用サポート体制を構築し、活動への参加を促す。更に、地域課題となっている“高齢化により自力での外出が困難かつ買い物や通院に不安がある住民の増加”に対して、歩行時の転倒リスクや自動精算機の操作等、日常生活面での困りごとを同行支援により解決する。

事業の全体像・共創の仕組み



取組の詳細

(地域の関係者との連携・協働)

・市は交通事業者と協同しAIオンデマンド交通の導入により利便性の向上を図る。伊美地区支え合い活動準備会は団体の発足を図り運営主体として地域住民にAIオンデマンド交通の利用及び活動への参加を促す。社協・市は団体活動の運営支援のほか、団体と協同し、買い物・通院支援等の事業企画 (付添、同行、代行) から実施までを支援する。公共交通の再編をキッカケに、交通・福祉・住民団体の連携により地域住民の日常生活の困りごとを解決し、持続可能な公共交通のモデルを構築する。

(実証事業により見込まれる効果)

・AIオンデマンド交通の導入により、自宅近くでの送迎サービスと地域ボランティアによる買い物・通院等付添サポートの組合せによる相乗効果が発揮され、公共交通の利便性向上と住民生活の質の向上が共に期待できる。結果として課題であった交通手段がないことで参加できない地域住民 (そのような住民ほど買い物や通院サポート等、生活支援を必要としている) を活動に取り込み参加者を増加させ、自力での外出が困難かつ買い物や通院に不安がある住民を減らし、社会参加を促すことに繋がる。効果を確認した後、国見地域他団体への横展開を検討し、課題となっている互助の輸送による住民負担を軽減するべくAIオンデマンド交通と互助の輸送を連携させ、他団体の活動活性化に繋げる。

取組の詳細

(事業実施手順・スケジュール)

主体	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
国東市 政策企画課	プロポーザル準備	デマンドシステムプロポーザル 本プラットフォーム協議会開催	システム及びタクシー事業者選定 交通会議	運行準備開始 運行計画作成開始 本プラットフォーム協議会開催	住民説明会	住民説明会 交通会議 本プラットフォーム協議会開催	実証開始 運行内容の情報収集&整理開始	次年度準備開始 本プラットフォーム協議会開催		交通会議 本プラットフォーム協議会開催	実証期間終了 運行内容の情報収集&整理継続 次年度準備継続
国東市社会福祉協議会 国東市福祉課		デマンド利用サポート体制構築支援 本プラットフォーム協議会開催	デマンド利用サポート体制構築支援	地域協議会への運行内容説明 本プラットフォーム協議会開催	住民説明会	住民説明会 本プラットフォーム協議会開催	交通支援&買い物通院支援状況情報収集&フィードバック開始	次年度準備開始 本プラットフォーム協議会開催	語ろう会開催 (3地区交流会)	本プラットフォーム協議会開催	支援状況情報収集&フィードバック継続 次年度準備継続
伊美地区支え合い活動準備会他	カフェ&スマホ教室開催(毎月)	協議会内の支え合い団体との協議。 サポート体制構築 本プラットフォーム協議会開催	協議会内の支え合い団体との協議。 サポート体制構築	活動者説明(運行内容&サポート体制)開始 本プラットフォーム協議会開催		活動者説明(運行内容&サポート体制)終了 本プラットフォーム協議会開催	参加者のデマンド利用支援開始 介護予防教室&買い物通院支援開始	次年度準備開始 本プラットフォーム協議会開催	語ろう会開催 (3地区交流会)	本プラットフォーム協議会開催	参加者のデマンド利用支援継続 介護予防教室&生活支援継続 次年度準備継続
タクシー事業者 &システム事業者			契約締結 (交付決定後)	運行準備 システム講習 運行計画作成 本プラットフォーム協議会開催	運行準備 システム講習 住民説明会	運行準備 システム講習 住民説明会 本プラットフォーム協議会開催	運行開始 運行支援開始 データ収集開始	次年度準備開始 本プラットフォーム協議会開催		本プラットフォーム協議会開催	運行支援継続 データ収集 次年度準備継続

(補助事業実施後の予定)

AIオンデマンド交通の導入については、補助事業実施後、本格運行への移行を目指す。運行費の確保については、既存公共交通への財政負担額と同水準に調整することにより、費用対効果を向上させ持続可能な運行を目指すほか、次年度以降は運行に対してはフィーダー系統確保維持改善事業の活用を検討する。社協と市、伊美地区支え合い活動準備会（立ち上げ後は名称変更予定）の連携による本実証事業については、地域における介護予防教室や買い物・通院支援を行う生活支援の仕組み作りと、公共交通の利用促進に相乗効果が期待できることから、終了後も随時地域ボランティアを募りながら取り組みを継続し、買い物・通院支援については、同行や代行だけでなく、通いの場での月1回の買い物マーケットの開催等も検討していくほか、地域内他団体との交流も促進させる。また、予約受付事務については伊美地区支え合い活動準備会と社協で担うことを想定・検討している。団体立ち上げ後の運営については、県等の補助金申請を計画の上、本格活動期には、市福祉課の運営補助金等があり事業の持続可能性も担保されている。